

## 平成30年度 北海道小学校長会 会長研修会 会長挨拶

2018.6.15

全道会長研修会の開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、修学旅行をはじめ、校外学習や行事等でご多用の中、このように、遠路お集まりいただき、心から感謝申し上げます。

道小においては、今年度も、「チーム北海道として進む道小」を掲げ、道中、道教委、道Pなどの教育関係諸団体等と連携を図りながら、平成30年度の活動をスタートしたところである。

本日の全道会長研修会は、共通課題を中心に全道の情勢や取組の状況を情報交換し、道小全体としての取組を明らかにしたり、道教委等への要望活動につなげたりする場であると考えている。道小及び地区校長会の活動の活性化のために、活発な意見交換が行われることを期待している。どうぞよろしく願います。

それでは、会に先立ちまして、私の方から教育情勢について、3点お話しする。

1点目は、5月23日に行われた全国連合小学校長会総会における文部科学省からの行政説明についてである。

説明資料は、530ページにも及ぶ膨大なものでしたが、その中で重点的に説明を受けた施策を50ページ程度にまとめたので、ご紹介する。全連小総会に参加された皆様には、重複するが、ご容赦願う。

講演では、文科省 白間竜一郎 官房審議官が、「社会に開かれた教育課程の実現」といった学習指導要領の改訂の方向性を改めてお話された。「言語能力の確実な育成」や「理数教育の充実」「伝統や文化に関する教育の充実」「情報活用能力」などの改訂のポイントに触れて、各校でのカリキュラム・マネジメントで実現してほしいとお話された。

その上で、プログラミング教育が必修になることや、学校教育法の一部改正により、教育課程の一部においてデジタル教科書を使用できるようになったこと、障がい児、紙の教科書では学習が困難な児童生徒に使用が認められることになったことなどに触れた。

続いて、初等中等局の3名が行政説明を行った。



最初の、外国語教育推進室 金城 太一 室長は、小学校の外国語教育について説明された。イメージ図から、小学校の英語教育拡充のねらいをコミュニケーション力の育成とし、言語活動を重視した「伝え合う場面」が授業の中に設けられているかが肝要であると強調された。また、5・6年生で英語の「読むこと」「書くこと」の学習が加わった点については、中学に円滑に接続するための活動と述べている。

次に財務課 合田 哲雄 課長は、「新学習指導要領の円滑な実施による教育の質の向上と、働き方改革の両立」を最重要課題とし、働き方改革は「先生方のため」を超えて「子どもたちのためにしなければならない」と述べていた。また、働き方改革は「予算や資源配分の思想の転換」と表現して、従来は、新たな教育を推進するために予算や人員を配分してきたが、今後は、確実に業務を軽減し、教育の質の向上につなげることにこそ予算を投入していくと強調した。小学校の英語教育の専科教員を増やす中、「担任は心配で教室に行ってみたくなくなる気持ちは分かるが、専科教員に任せて」と話し、「チーム学校」で働き方改革を実現し、教育の質の向上を図るよう求めた。

最後の情報教育振興室 安彦 広齊 室長からは、今年3月に公表した小学校プログラミング教育の手引に沿って説明があった。掃除ロボットなどの家電製品や信号機などプログラミングが有効に使われている身近な例を提示して、プログラミング教育は将来どの職業に就くとしても重要であることと、導入の意図について話された。具体例として、5年生の正多角形の作図をプログラミングで学ぶ授業を提示し、算数の苦手な子どもも楽しんで学習ができると紹介した。最後に、プログラミング教材を入手できるウェブサイト「プログル」を紹介し、実際に試してほしいとアピールしていた。

2点目は、全連小の常任理事会の資料から2つお話しします。

1つ目は、いじめの認知についてである。いじめの定義については、かつてのいじめの定義とは変わってきているので、法律上の定義をしっかりと把握し、法の対象となるいじめに該当するか否かを正しく判断していただきたいとのことである。

2つ目は、全連小の「組織及び運営について」である。

会則改正の中には、「全国の小学校長が結集した職能団体「全連小」として活動することが大きな力であり、極めて重要である。」とある。全連小が編集している刊行物の購読も含めて、組織団体としての凝集性を高めていければと思っている。また、全連小の財政状況と財政健全化に向けた取組については、全連小の活動を、極力縮小させることなく、組織や運営の効率化と財政縮減を目指し、課題と改善に向けた方向性が示された。

3点目は、第70回全連小北海道大会についてである。

函館市小学校長会と道小事務局幹事で、2回の大会実行委員研修会を行い、大会に向けて準備を進めている。現在、全国から期待数を上回る2,480名を越える申し込みがある。「分科会の充実こそが最大のおもてなし」というキャッチフレーズの下、全国からお越しになる校長先生をお迎えしたいと考えている。大会に向けてお伝えしたい内容につきましては、道小HPに随時掲載していくので、ご確認願いたい。

私からは、全連小総会における文部科学省からの行政説明を中心として、3点について、お話しさせていただいた。

本日の会長研修会においては、各地区の実情はそれぞれ異なるが、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと考えている。意見の交流は、各地区校長会の指針や活性化に役立つことと思う。

むすびに、会長研修会の開催に当たって、対策部を中心にご準備いただいた。お礼を申し上げます。

本日は、どうぞよろしく願います。